

Black letters are mainly descriptions of patterns.

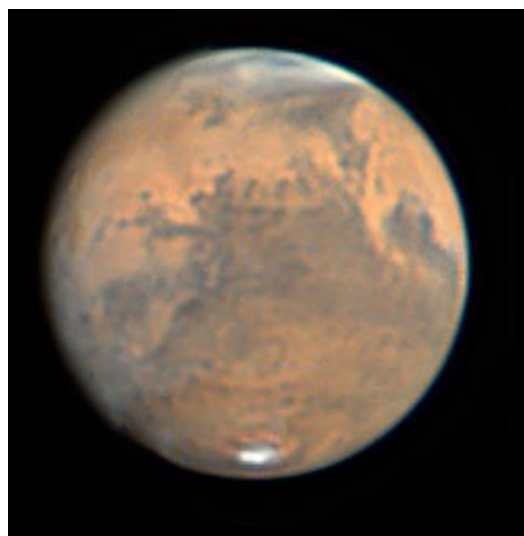
Blue letters are descriptions of polar caps and clouds.

Brown letters are the description about dust.

Red is a special note.

2020年11月05日

佐藤, Kevin Quin, 栗栖, Randy B. Christensen, Gary Walker らが Aurorae Sinus (53W,-10)の北縁にダストストームの小さな光斑を記録している。このコメントは11月7日03時46分には書いていたため、まだ後から観測報告が送られてくると思うが、発生前日からの2日分の画像を下に並べた。11月5日に見られている明るいスポットは、いつも明るく



見える所に接している。左の画像で、スポット状に記録されているものがそれである。

今回のダストストームの発生場所は、地形図と合わせてみると、Orson Welles (45W, 0)だと思われる。ここは、小さく深い谷があるところだ。

Kevin Quin left: 2020 Nov.04 04h17m(UT) right: 2020 Nov.05 05h18m(UT)

日本では、日没後すぐの低空での観測となり、観測条件は厳しいものがあった。安達は、肉眼で思位置を観測する

ことができたが、シーイングが悪く、かすかに明るさを感じたものの、はっきりした姿を見ることはできなかった。こんなに小さいのだから、肉眼での観測は難しいだろう。今後の展開が待たれる。

Olympus Mons は、衝効果を受けなくなり、暗くなった。肉眼で見るのは、よほど条件がよくないと困難である。画像でも、明るくなく各観測者の画像でも写らなくなっている様子がよくわかる。これからは、年末にかけて白雲の活動に注目したい。柚木の BE410+IR/UV cut の画像では、Tharsis の 3 火山と Olympus Mons との間に大きな雲の広がりを記録している。南極周辺は暗くなり、この地域の靄は淡くなっていることが分かる。そのため、この暗くなった部分の地表は、カラー画像では赤黒く写っている。この色合いの傾向は、阿久津富夫のカラー画像が分かりやすい。同じ地域を、井上は B 画像で撮影した。色合成用の B 画像では、この雲を明るくとらえることはできないが、明るく記録され、雲がある様子は見ることができる。

石橋は少し時間が経った同じ地域を B390 で観測した。B390 は少し漏れているため、Mare Sirenum が見えている。雲の左側に非常に明るいスポットがあり、上の画像とは違いが見える。明るいスポットは、夕方になって Arsia Silva の雲が明るくなってきたためにできたものである。このが画像はコントラストが強いため、ターミネーター側の雲の様子が自然に見えないが、この地域は朝霧の活動が活発だということを示している。同じ地域を阿久津富夫も記録している。

(by 24 observations; reported by Makoto Adachi)

Sato, Kevin Quin, Kurisu, Randy B. Christensen, Gary Walker et al. Recorded small dust storm spots on the northern edge of Aurorae Sinus (53W, -10). Since this comment was written at 03:46 on November 7, I think that the observation report will be sent later, but the images for the two days from the day before the occurrence are listed below. The bright spots seen on November 5 are always in contact with what looks bright. In the image on the left, it is recorded in a spot shape.

In Japan, the observations were made at low altitude immediately after sunset, and the observation conditions

were harsh. Adachi was able to observe the desired position with the naked eye, but the seeing was poor and he felt a faint brightness, but he could not see a clear figure. Because it is so small, it will be difficult to observe it with the naked eye. Future development is awaited.



Kevin Quin left: 2020 Nov.04 04h17m(UT)

right: 2020 Nov.05 05h18m(UT)

(by 24 observations; reported by Makoto Adachi)